



倉敷ライオンズクラブ

会 報

創立 昭和32年6月26日
チャーターナイト 昭和32年11月3日
HP <http://www.kurashiki-lions.org/>
E-mail: kure1957@mx1.kct.ne.jp

〔事務局〕

〒710-0833
倉敷市白楽町411-1
ヨコタビル6F
TEL (086) 422-7126
FAX (086) 422-7129
例会場 倉敷国際ホテル
例会日 毎月第1、第3水曜日
P.M. 0:15~1:30

2017年(平成29年) 認証60周年記念号・11月号会報

ご挨拶

第61代会長 岡本良夫



倉敷ライオンズクラブは1957年に結成され11月3日がチャーターナイトでした。認証60周年記念に向けて3年前から準備を始め、メンバー全員が事業の成功に果敢に取り組み、ウイーン少年合唱団の公演に合わせて5月13日に達成することができました。その記録が、今回の増ページ会報に掲載されています。前年度のPR・IT委員会が記事を集め、今年度の委員会で現代工芸秀作展とサッカースクールの歴史を加えてまとめてくださったものです。認証60周年記念誌と共に大切にしてください。

このチャーターナイトの記念の日に事業の成功を祝い、改めて祝杯をあげて思い出を語り、倉敷ライオンズクラブの明日を語りあいましょう。

チャーターナイト プログラム

2017年11月3日(金) 18:00~
倉敷国際ホテル 桜花の間
司会: 中桐 潔

< 例会 >

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 開会ゴング並びに開会宣言 | 会長 岡本良夫 |
| 2. 国旗に敬礼・国家斉唱 | |
| 3. ライオンズヒムの歌斉唱 | |
| 4. 会長挨拶 | 会長 岡本良夫 |
| 5. 永年在籍者に記念品贈呈 | |
| 6. 幹事報告 | |
| 7. 閉会挨拶・ライオンズローア | 第一副会長 木曾昭光 |
| 8. 閉会ゴング | 会長 岡本良夫 |

司会: 石伊繁文

< 祝宴 >

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 開宴宣言 | 計画親睦委員長 石伊繁文 |
| 2. 60年の歩み | |
| 3. 乾杯 | 難波 敢 |
| ～食事及び歓談～ | |
| 4. 記念コンサート: 高橋誠さん | |
| 5. 閉宴挨拶 | 藤原 均 |
| 6. 「また会う日まで」斉唱 | |
| 7. 閉宴宣言 | 計画親睦委員長 石伊繁文 |



We Serve

歴史をつなぎ次の時代へ “みちびき” (倉敷 L C スローガン)

『未来に繋ぐ 美しき心と地域』 (336-B地区 スローガン)

記念式典



藤南大会実行委員長より歓迎のこたば



予定よりも早くコンサートが終わり、ウィーンの美声に酔いしれた参加者がぞくぞくとフローラルコートに集まって来ました。思い思いのウェルカムドリンクで寛いでもらい、少し早めに開場し主賓の来場を待ちます。加藤大臣に続き伊東市長も来場され、会長のゴングでいよいよ式典開始。国歌、ライオンズクラブの歌斉唱に続き物故ライオンに黙祷を捧げたが、中でもお別れの間際まで活動を共にしていた物故者に対しては格別の想いがこみ上げてきました。歓迎の挨拶、式辞に続き、アクトの目録を手渡した後、現役大臣から身内だからこそ言える、深い理解に基づいた祝辞を頂戴でき、感無量でありました。

そして、記念誌の出来も素晴らしく、10年の歩みと60周年にかける皆の想いを出席者に伝えてくれました。
(大会実行委員長：藤南和将)



【式辞】
藤原会長



【来賓祝辞】
加藤勝信 様



【来賓祝辞】
伊東香織 様



【来賓祝辞】 地区ガバナー
代読 杉元誠 様

【記念事業の発表】



岡本アクト委員長が発表



倉敷みらい公園
藤棚増設及びベンチ寄贈



LCIF \$1000 寄贈
(LCIF50 周年記念)

祝 宴

一連の記念事業が終わった翌日の日曜日、私はただボーッと一日を過ごした。ぽっかりと、心に大きな穴が開いた様に。確かに、私は委員長として一年間委員会を開催したが、会員の意見を取りまとめたにすぎず自身は何もしていない。なのに、この感覚は何だろう。

平成 29 年 5 月 13 日、素晴らしい周年事業であった。初めてのウイーン少年合唱団、透き通った天使の歌声、そのあとの完璧な式典と祝宴。しかし、どんなに素晴らしい時間であっても、過ぎ去ってしまう。舞台が始まれば終わるように。そのことで感傷的になったのか。

あれからひと月、また平穏な日常に戻った。周年事業は過ぎ去ったが、その記憶は永遠に心の中に留め置くことができる。私の中で、これから何度も何度も反芻されるであろう、60 周年記念事業の記憶を頼りに、これまで通り、地道に奉仕活動が続けていこう。
(式典・祝宴委員長：小川洋一)



祝 舞

上西大会実行副委員長による
開宴挨拶後藤行宏様ご挨拶
(沼津 LC 前会長)

加藤勝信大臣による乾杯



岡大会実行副委員長による閉宴挨拶

【記念コンサート】

～ 高橋誠 V Special Violin LIVE ～



記念事業

<ウィーン少年合唱団公演に伴う市内小中学生 600 名無料招待>



倉敷ライオズクラブ認証 60 周年記念の目玉として、岡大会副実行委員長、藤原会長の 3 年越しの想いをアクト事業として形にすることが出来ました。改めて関係のみなさま方に心より御礼申し上げます。

当日は、クラブメンバーの強い想いが一つになり“天使たちの歌声”が満席の倉敷市民会館内に響き渡りました。本物の歌声は、一般のお客様はもとより、小中学生と父兄の方々 600 名余りを感動の渦に包みました。本コンサートを通じて、多くの子どもたちに夢や希望を与えることができたのではないかと感じています。クラブの精神は、次の 65 周年に向けて既にスタートしています。いつまでも本物と本質を見据えるクラブでありたいと願っています。

ありがとう！ウィーン少年合唱団！！

(コンサート委員長: 森川政典)



<倉敷みらい公園 藤棚増設及びベンチ寄贈 (国際協会 100 周年記念レガシー)>

クラブの皆さんには写真撮影のときに見ていただきましたが、55 周年アクトで植樹した藤の木に、市が設置した立派な棚がありました。棚は頑丈な支柱にささえられ、長さ 2.0m と 1.5m の棚材それぞれ 32 本を交互に円形に組み合わせたものでした。5 年を経過し藤の成長に比べて小さくなってきましたので、1.5m の棚材 32 本を長さ 3.0m の耐久性と強度の優れたセランガンバツ材に取り替えて、直径を 1.7 倍の円形棚に増設しました。面積で約 3 倍になりましたので、藤は伸び伸びと成長し来年の春には素晴らしい花を見せてくれることと思います。花の観賞用ベンチも 1 基設置しました。毎年 5 月を楽しみにしてください。

(アクト委員長: 岡本良夫)



<記録委員会>

人間で云う還暦の節目で記念誌の表題は“つなぐ”となり、表紙・紙質・デザイン・色づかい・ページ・構成等々、記念誌メンバー 7 人全員による割当制の製作となり楽しませていただきました。メンバー皆様の御協力も感謝いたします。

(記録委員長: 原 淳二)



<沼津 LC エクスカーション in 広島>



5 月 14 日。いい天気恵まれ沼津 LC (27 名)、倉敷 LC (16 名) と広島 (平和記念公園、ORIZURU TOWER、宮島) に行きました。行きはバスの中でビンゴゲームをしながら平和記念公園へと向いました。平和記念公園 (原爆ドーム) の隣にオープンした新しい観光名所の ORIZURU TOWER では、今までに見たことも感じたこともない空間を体験しました。そして、すぐ近くから出ている川から海へ通るルート (世界遺産航路) で宮島に行きました。宮島では昼食をとり、ガイドさんの説明を受けながら厳島神社を参拝し、その後は自由行動でそれぞれが、商店街で土産物を買ったり、グルメを楽しんだり楽しい 1 日を過ごし親睦を深めました。

(沼津委員長: 松本晃良)

～認証 60 周年記念式典祝宴を終えて～

3 年の準備期間を経て実現した 60 周年記念アクトの一つ、「ウィーン少年合唱団チャリティコンサート」。今年はモーツァルト組 25 名が来日し、「ウィーン少年合唱団が歌いつなが合唱名曲集」というテーマで世界中の名曲を聞くことが出来ました。特にパートⅡは「ソーラン節」に始まり、「ふるさと」「野ばら」など、魅力的なハーモニーに加え、幼いあどけない仕草がとてもかわいく、やさしい気持ちに誘ってくれました。透き通る「天使の歌声」は会場を一つにし、心癒される感動の一時でした。

その後の式典は、一億総活躍担当大臣 加藤勝信様、倉敷市長 伊東香織様はじめご来賓の方々、そして 27 名の沼津クラブの皆様をお迎えし、簡素な中にも厳粛な雰囲気で行われました。続いての祝宴は、松永楓山さんの祝舞、上西実行副委員長の開宴の挨拶、加藤大臣のご発声で乾杯。そして、倉敷アイビースクエアの料理長渾身の美味しいお料理を頂きながら、ご出席の皆様方と歓談し、より親交が深まり、絆が強くなったことを確信致しました。また、「高橋誠ジャズライブ」に酔いしれ、素晴らしい時間を共有することが出来たと思っております。岡実行副委員長の閉宴の挨拶の後、全員で円をつなぎ、「また会う日まで」の大合唱。



その後の倉敷国際ホテルでの沼津交流会、そして翌日の広島へのエクスカーションでは、また新たな交流の輪が広がっていきました。

改めて、倉敷ライオンズクラブの一員であることに喜びと誇りを感じ、この歴史と伝統を次につないでいかなければならないと感じた一日でした。これも会員の皆様方のご協力、お力添えがあったからこそと、心より御礼申し上げます。またこの日は、事務局 後藤陽子さんなくては成し遂げられなかった事と大変感謝しております。

今皆様と共に、60 年の歴史に新たな一頁を添えることが出来ました。この感動を胸に忘れることなく、WeServe の精神のもと、精進して参りたいと思っております。本当にありがとうございました。改めて、会員の皆様方に心からの感謝を申し上げ、60 周年総括と致します。(第 60 代会長：藤原京子)

謙 受 譚

大原家五代当主で 孫三郎 の祖父 大原壮平 は儒学者 森田節斎 に師事し「謙受説」を会得しました。「満招損、謙受益」、「驕り高ぶる者は損失を招き、謙虚な者は利益を受ける。」と説きます。倉敷 LC60 周年記念誌や会報の編集に関わる中で多くの方からお話を伺い、一つひとつの事業の中に「We Serve」の心が込められていることを教わりました。謙受説の心と響き合うものを感じました。ウィーン少年合唱団のコンサートを鑑賞された OB の 藤田祐二 さんから 藤原会長 に寄せられた礼状をご紹介します。

『この度は貴クラブ認証 60 周年記念式典及びウィーン少年合唱団の記念コンサートにご招待戴き誠にありがとうございました。50 周年記念式典を期に一身上の都合で退会させていただき 10 年になりますが、私ごとき 1 人に対して未だに気にかけて下さったことに対して、涙が出るほど嬉しく身に余る思いがけない事でした。難波社長・上西先生・岡社長さん達の温かいお心遣いがあったと思い、ただただ感謝の念で一杯でございます。おかげで二度と聞くことはないであろうウィーン少年合唱団の天使の歌声に至福の時間を持つことが出来ました。

又、祝宴での祝舞、さらに高橋誠ライブ等々さすが倉敷 LC でないと出来ない催しでメンバーの英知の結集を見せて頂き、時の経つのを忘れて楽しませて戴きました。

在籍中のメンバーの方々からも温かいお声をかけいただきました。10 年間という永い時間が経っても皆さんお変わりなくご活躍のご様子で何よりでした。

終わりにオピニオンリーダーとして益々の御活躍を御祈願申し上げ、お礼とさせていただきます。』

(倉敷 LC OB：藤井祐三)

論語に「徳は孤ならず、必ず隣あり」といいます。徳のある人は必ず分かってくれる人が近くにいます。藤井さんも、コンサートの感動だけでなく陰で支えていた皆様のご苦勞を偲ばれて筆を執られたことを確信しました。

感謝、感謝！！

(記：山本俊夫)

「倉敷現代工芸秀作展」誕生から今日まで ～存亡の危機も“We Serve”の心で～

2016 (H28) 年 10 月 12 日の朝、「ギャラリー十露」の前では我が倉敷ライオンズクラブメンバーが県内作家約 70 人から約 100 点の作品が寄せられた第 36 回「倉敷現代工芸秀作展」のオープンを心待ちにしていました。この「倉敷現代工芸秀作展」は倉敷ライオンズクラブきっての長寿アクトで、市民からも支えられながら「ちびっ子フェスティバル」とともに事業の柱となっております。

1981 (S56) 年に第 1 回を開催し、昨年第 36 回を迎えましたが、この機会に古くからこの事業に携わり、値付け会場を提供して下さっている岡荘一郎さんに今日までの経過を振り返って頂き、難波敢さん、原淳二さんにも補足して頂きました。岡さんが入会した年 (S60 年) にはこの事業は三越倉敷店を会場に既に 5 回目を迎えておりましたが、発足当時のことは先輩方から伝わってきたこととしてお話し頂きました。



36 年前、当クラブのメンバーで写真家の中村昭夫さんが県内各地の工芸作家を撮影されておりました。人間国宝の大野昭和斎様や藤原雄様、山本陶秀様などと交流を重ねるうちに作家の方々に作品を提供して頂きチャリティバザー開催の構想を得たようです。そして、第 1 回「倉敷現代工芸秀作展」は 1981 (S56) 年 11 月 22 日に三越倉敷店を会場に開催しました。出品者は備前焼作家 藤原啓様、藤原雄様、木工芸作家 大野昭和斎様等 57 名の作家たちから 80 余点出品頂き、200 万円の売り上げがありました。回を重ねるごとに出品者は多彩になり、東大寺管長 清水公照様、金光教教主 金光鑑太郎様、黒住教教主 黒住宗晴様、備前焼作家 山本陶秀様等のお名前もあり、その中には 1 点が 100 万円を超える作品もあって総売り上げは 600 万円を超えた年もあったようです。売り上げが多いことは嬉しいことではありますが、毎年ながら収益金の使い道には頭を悩ませるところでもあり会長の大きな仕事ともなっている状況でした。また、名称も初回は「倉敷市内代表作家チャリティ美術展」、第 2 回は「チャリティ茶掛展」、第 3 回は「現代陶芸秀作展」で、第 4 回から現在の名称に固定されたようです。

しかしながら、36 年間の歳月は順風満帆ではなく、工芸秀作展開始数回を経た頃清水公照様のご高齢により出品出来なくなり、11 回目を迎える年 1991 (H3) 年には金光鑑太郎様のご逝去に逢い、売り上げは激減、さらに、追い打ちをかけるように 2005 (H17) 年には会場である三越倉敷店の撤退が決まりました。メンバー一同“おい、どうすりゃー”の迷いのなかで工芸秀作展中止も止む無きの意見もありましたが、故白井公平さんから「ギャラリー十露」で、との提案があり、即座に決定、2005 年の第 25 回は「ギャラリー十露別館」での開催となりました。翌年から本館で開催出来るようになり、折から、百年ぶりに復活開催していた「倉敷屏風祭」の協賛行事としても位置付けられ、安定開催の道が拓けてきました。課題としては、現在では 1 点当たりの単価が下がり、運営にも影響が出てくるようになってきており、チャリティバザーそして現代工芸秀作展の趣旨を今一度考えることも次へ繋げてゆくステップかと思われます。



このように、36 年間の軌跡は、主要出品者逝去による出品作品の変化や実施会場の移転による工芸秀作展存続の危機にはメンバーが“We Serve”をモットーに乗り切り、一度も途切れることなく続けることが出来た歴史でもあります。これこそ我が倉敷ライオンズクラブの“We Serve”継承の歴史を物語るものでした。

(記：山本俊夫)

「ちびっ子フェスティバル」26回の軌跡 ～ 手づくりの企画で潤いのある社会を ～

倉敷ライオンズクラブ 50 周年記念誌によりますと第 10 期(1966(S41)年～)の地区スローガンに「青少年に愛と希望を…」とあり、当クラブでは第 27 期(1983(S58)年～)のスローガンで「青少年に愛を」が出て参ります。

その後、青少年健全育成の手引書『親子の窓』の発刊や阿智神社でメンバー手づくりの「伝承おもちゃ作り大会」を開催して竹トンボ作り、コマ回し、縄跳びなどに挑戦し、日本郷土玩具館館長 大賀弘章様のご指導を頂いたこともありました。

この頃から青少年健全育成事業に携わり、「ちびっ子フェスティバル」草創期から本事業を支えてこられた難波敢さんから話を伺い、周年誌、会報等を織り交ぜて 26 回に及ぶ軌跡をとりまとめました。

「おもちゃ作り大会」を始めて数年経たところでメンバーからもっと本格的に取り組もうとする機運が高まり、1991(H3)年 12 月 1 日に山陽ハイツで記念すべき「第 1 回ちびっ子フェスティバル」を開催しました。当時の会報によりますと市内 6 小学校の児童や父母など約 300 名が参加し、ウルトラクイズやむかで競争、学年別縄跳び等に挑戦しています。2回、3回と回を重ね先生方との交流も生まれるなか当クラブの藤井孝彦さんの紹介でサンフレッチェ広島の選手が来て頂けることになり、1995(H7)年 1 月 16 日山陽ハイツで開催した「第 4 回ちびっ子フェスティバル」では、午前中にサッ



カー教室でゲームなど行い午後は子供たちあこがれのサンフレッチェの選手とコーチから指導して頂きました。当時の会報に、子供たちは「難しかったけど楽しかった。サンフレッチェの皆さんもがんばってください。」と選手らにエールを送っていたことを記しています。

第 12 回大会はガンバ大阪でしたが、2009(H21)年開催の第 18 回大会までの 14 回はサンフレッチェ広島の選手からご指導を頂き、数回は玉野光南高校サッカー部 OB や川崎医療福祉大学のサッカー部員からの応援もありました。

その後岡山県にもファジアーノ岡山が誕生し、支援の輪が広がりつつある 2010(H22)年の第 19 回大会からファジアーノ岡山の指導を受けることになりました。当時の会報によりますと、倉敷市内 9 小学校から 134 名の児童と先生 10 名が参加し、ファジアーノ岡山の選手、コーチ 10 名と玉野光南高校サッカー部 OB 6 名から指導を受けています。午前中のサッカースクールではアトラクションとゲーム、午後の部では実技指導とゲーム形式の競技があり、お楽しみ抽選会の後閉会しております。



今日までの間には、第 24 回で「内容を見直す」とか第 25 回には「新しい試みとして経験者、未経験者及び女子のグループに分けてのミニゲームを行う」など、常に改革・改善の努力を行ってきたことも窺われます。

難波さんの話を伺い、子供たちに明るい明日を迎えさせたい、地域社会とのふれ合いにより生活に潤いを持たせたいとの願いに溢れており、ここでも We Serve の心が脈々と繋がってきていることを強く感じました。

(記 山本俊夫)

■第 1443 回会報告

(2017.10.4)

出席者 39 名欠席者 23 名

純例会出席率 63%

メイクアップ後出席率 74%

【幹事報告】

①キャビネットより「糖尿病啓発」のアンケートが届いております。机の上に配らせて頂いておりますので、ご協力お願いします。帰りに受付にて回収致します②第 37 回「倉敷現代工芸秀作展」を 10 月 11 日(水)10:00～開催いたします。教育長のテープカットは 9:45～です。多数のご参加お待ちしております。また、本日会期中の御協力お願いを各テーブルの上に置いてあります。そちらも是非ご記入お願いします。③協力作家の先生にお花をお贈りしております。○山本出 作陶 45 周年記念展(9/27～10/3 まで岡山天満屋 5 階美術画廊)○水口智貴 第 68 回岡山県美術展覧会 工芸の部 山陽新聞社賞受賞④9 月 26 日に、藤原京子さん、原淳二さん、宮田明美さんが坂口正行さんのお見舞いに行ってくださいました。坂口さんは療養中ですが元気になっておられました。⑤キャビネットより 2018 年夏期 YCE 派遣生募集案内が来ています。派遣期間は 2018 年 7 月中旬～4 週間です。詳しくは事務局までお願いします。⑥倉敷天領クラブよりアクトの案内が来ております。各自お配りしておりますので、ご確認下さい。

■第 1444 回例会報告

(2017.10.18)

出席者 38 名欠席者 24 名

純例会出席率 61%

メイクアップ後出席率 76%

【承認事項】

①11 月 26 日(日)14:00～薬物乱用研修セミナーを山陽ハイツにて開催します。
②LCIF 献金について・・・例年通り、1 人 50 \$ 献金が承認されました。

【幹事報告】

①キャビネットより「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」の案内がきております。12 月 2 日(土)倉吉市で開催予定です。詳しくは事務局・幹事までお願いします。
②10 月 29 日(日)沼津にてアイバンクの全国大会が開催されます。当クラブより木曾先生が出席されます。③協力作家の先生にお花をお贈りしております。○杉田修一・透明水墨画展(杉田修一先生)10/12～16 日まで(ギャラリー十露別館)○丸山昌子作品展(丸山昌子先生)10/11～15 日まで(ギャラリー十露)○岡島光則<陶芸>展(岡島光則先生)10/19～29 日まで(ぎやらりー しをり)



DONATION



《第 1443 回例会 10 月 4 日》

●誕生祝(各 50 枚)

河田さん、武政さん、野上さん、深井さん。

●結婚祝(各 50 枚)

小川洋さん、小川京さん、川崎さん、梶谷さん、山本さん、吉田さん。

●岡本さん、中桐さん、森川さん、原さん、中井さん、小川洋さん、武政さん、木曾さん、三村さん、足立さん、石伊さん、藤原京さん、森山さん、山本さん、小野更さん、小野鈴さん、胡さん。(各 10 枚)
9 月 21 日、片山先生主催のオレンジメモリーウォークの行進をケーブルテレビに大きく映っていました。ご盛会おめでとうございます。深井さん、ありがとうございました。

●宮田さん(30 枚)

先日 RSK ラジオの番組で骨粗鬆症について話をさせて頂きました。

●高吉さん(100 枚)

お祭りにはお世話になりました。45 年経ちました。45 枚。チャリティーにご協力お願いします。の 55 枚で計 100 枚！

●原さん(100 枚)

大阪の娘に 3 人目でかわいい女の子が生まれ、家内とニコイチで手伝いに行きました。

●宮田さん(30 枚)

本日は訪問介護について江田会長に時間を頂きありがとうございました。

●片山さん(現金 200 枚)

オレンジメモリーウォークに大勢ご参加いただきありがとうございました。

●江田さん(現金 100 枚)

ゲストスピーチありがとうございました。

《第 1444 回例会 10 月 18 日》

●木曾さん(30 枚)

現代工芸秀作展の大成功お疲れ様でした。11 月 26 日山陽ハイツで薬物乱用防止研修セミナーを開催します。お知り合いの方に拡散して下さい。

●野上さん・宮田さん(各 30 枚)

現代工芸秀作展が無事終わりました。皆様お疲れ様でした。山陽新聞の一覧に宮田さんと野上が掲載されました。ありがとうございます。

●岡本さん(100 枚)

現代工芸秀作展完売ありがとうございました。

●大原さん(50 枚)

無事「現代工芸秀作展」が終了しました。会員の皆様方ありがとうございました。

●高吉さん(300 枚)

倉敷現代工芸秀作展大盛況で終了しました。またお祭りのお花もありがとうございました。浜吉も移転後 45 周年を無事に迎えました。これからも皆さん宜しくお願いします。

●社会アクト委員会(各 10 枚)

大原さん、池本さん、上西さん、岡さん、小川洋さん、小川京さん、小田さん、小野更さん、金光さん、河田さん、高吉さん、野上さん、藤原京さん、松本さん、三宅さん、宮崎さん。

倉敷現代工芸秀作展ご協力ありがとうございました。今年は雨の日が続いたのですが、素晴らしい作品も多く、大勢の方々に来て頂きました。ありがとうございました。

●大原さん(50 枚)

9 月のゴルフ大会に何と優勝してしまいました。ありがとうございました。

●宮田さん(30 枚)

県看護協会で健康づくり財団に“がん予防 203 万円寄付”を贈りました。贈呈式の時の写真が掲載されました。ありがとうございました。

11 月 行事予定



3 日(金)18:00～倉敷国際ホテル
チャーターナイト(1445 回)
15 日(水)12:15～倉敷国際ホテル
第二例会(1446 回)
22 日(水)14:00～倉敷国際ホテル
第 2 回ガバナー諮問委員会
26 日(日)14:00～倉敷山陽ハイツ
薬物乱用防止研修セミナー



倉敷ライオンズクラブ発行

会長：岡本良夫 幹事：中桐 潔 PR委員長：山本俊夫
事務局：倉敷市白楽町 411-1 6F 電話(086)422-7126
例会場：倉敷市中央 1 丁目 1-44 電話(086)422-5141
HP: <http://www.kurashiki-lions.org/>